

実施計画事業名		町内会活動等支援事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部市民生活課		課長(主幹)名	工藤 紳吉			
総合計画体系	分野	0	地域経営(自治)					
	政策	2	パートナーシップによるまちづくり					
	施策	2	コミュニティ活動を促進します					
	関連施策							
現状と課題	町内会活動については、高齢者の独居宅の増加、役員の後継者不足、自主財源の減少、アパート入居者等の未加入、町内会館等の老朽化等が問題となっている。 町内会館等の整備に関しては、まちづくり活動拠点施設整備との調整も必要である。							
目的	住みよいまちづくりを目的に町内会の自主的な運営や活動を推進する。							
施策展開の	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への交付金 ・稚内市町内会連絡協議会への補助金 ・町内会館等の改修または増築、新築の際の補助等 ・地域集会所の管理運営 							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	研修会参加人数		人	目標	180	160	160	
説明	稚内市町内会連絡協議会及び道町連が主催の研修会参加人数			実績	177	84		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	研修会開催回数		回	目標	4	4	4	
	説明	稚町連協及び道町連が主催する研修会の回数		実績	4	4		
	町内会への加入率		%	目標	93.0	93.0	94.0	
	説明	(町内会への加入世帯数/全世帯数) × 100		実績	92.1	91.3		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	31,763	31,901	12,668		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	2,905	0	0		
	一般財源		千円	28,858	31,901	12,668		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.24	2.09	2.09		
人件費(B)		千円	8,421	14,534	14,534			
計(A+B)		千円	40,184	46,435	27,202			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 町内会への活動支援担当課とまちづくり委員会への活動支援担当課が異なっていて市民には分りづらいことから、平成24年度の機構改革により市民生活課が廃止され、新たに市民協働課に業務が移管される。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	c a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 研修会参加人数が減少したことは、道北ブロック研修会の開催地が地方であったことが一つの理由にあげられるが、根本的な課題である高齢化による町内会役員の後継者不足、また、町内会活動への無関心と高齢者の負担感が大きな要因となっているため、目標設定の見直しも必要となっている。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 地域集会所等改修事業については、老朽化による多額な修繕・改修費用が財政を逼迫させることから、施設ストックプロジェクトの検討結果と整合性を図る方向を定める必要がある。さらには町内会館設置補助金交付要綱や地域活動拠点センター設置ガイドラインとも整合性を図り、新たな町内会館等への支援のあり方を検討する必要が生じている。
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 地域集会所並びに町内会館の修繕・大改修・取り壊しといった費用の枠組みなど、市の施設維持の観点や将来の町内会機能の維持継続など、総合的な議論と判断を行ったうえで市と町内会との負担割合の見直しが必要である。
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	C 見直しが急務 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 見直しの方法としては、細事業の構成・進め方における問題点を改善したい。具体的には将来にわたっての地域集会所等改修事業の整備方針(現在は定めていない)を早急に定めて、その方針に基づき、修繕、大改修に関わる整備要綱を新たに定め、町内会館設置補助金要綱の改正をするとともに、地域の閉校した学校の再利用や他の類似施設との統廃合を進める。

【2次評価】

成 果	c	細事業の構成	b	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	C 見直しが急務 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	町内会館設置補助金要綱の改正のみならず、町内会活動への支援についても今後検討を要する。成果指標が事業の効果を示すものになっていないため、見直しを検討する。
--------	---